

(54) CHARACTER INPUT DEVICE

(11) 4-238568 (A) (43) 26.8.1992 (19) JP

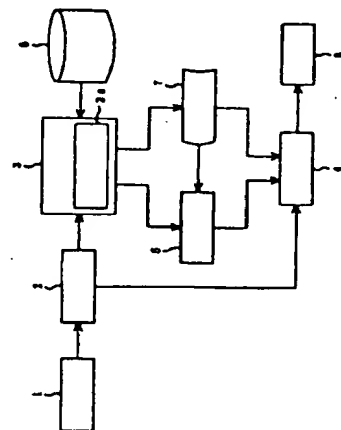
(21) Appl. No. 3-5994 (22) 22.1.1991

(71) TOSHIBA CORP (72) YUKIO ENDO

(51) Int. Cl.⁵ G06F15/20**BEST AVAILABLE COPY**

PURPOSE: To simplify the operation and to enhance the work efficiency by decreasing the number of times of executing a character adopting instruction by an operator.

CONSTITUTION: An input processing part 3 reads out a character corresponding to reading inputted from a keyboard 1. In this case, when the character corresponding to reading inputted from the keyboard 1 is only one kind, a single candidate character adopting means 3a adopts unconditionally the character concerned without a character adopting instruction from the keyboard 1.



2: command analyzing part, 4: display control part, 5: text memory, 6: dictionary, 7: KANJI (Chinese character) data buffer

(54) ACCOUNT PROCESSING SYSTEM

(11) 4-238569 (A) (43) 26.8.1992 (19) JP

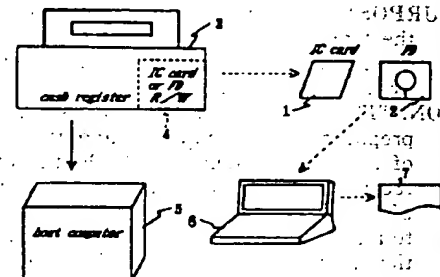
(21) Appl. No. 3-6428 (22) 23.1.1991

(71) TOSHIBA CORP(1) (72) ETSURO NISHIYAMA

(51) Int. Cl.⁵ G06F15/22, G06F15/21

PURPOSE: To realize the application of an information processing system which is constituted so that as for a consumer, it is unnecessary to execute a note and a manual calculation in order to prepare an account book, a seller can manage sales for every customer, and it is convenient to both the customer and the seller in a circulation field.

CONSTITUTION: At the time of integration, the same information as a conventional receipt is recorded as account book preparing information in recording mediums 1, 2 such as an FD and an IC card, etc., by a register 3, and by setting it to an account book preparing machine 6 such as a word processor and a personal computer, etc., an account book is prepared. Also, a customer code of the recording mediums 1, 2 is utilized, sales information is sent together therewith from the register 3 to a host computer 5, and sales are managed for every customer.



7: housekeeping book

(54) PROCESSING SYSTEM FOR INVENTORY DATA

(11) 4-238570 (A) (43) 26.8.1992 (19) JP

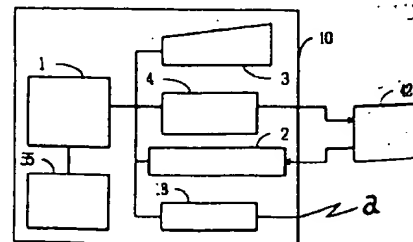
(21) Appl. No. 3-6063 (22) 23.1.1991

(71) FUJITSU LTD (72) AKIYO YOSHINO(2)

(51) Int. Cl.⁵ G06F15/24, G06F15/74, G07G1/12

PURPOSE: To obtain the inventory data in an inventory site without reading out the previous inventory data from a master file of a host computer at the time of inventory, although it is necessary to receive a commodity master file held by the host computer to a processor side and to store it in an external storage device in order to grasp the inventory quantity of commodities by comparing it with data at the time of the previous inventory at the time of inventory.

CONSTITUTION: This system is constituted so that a control part 1 generates prescribed data from data of a label part 42 read from a bar-code reader 2 and data subjected to key input from an operating part 3 and stores it in a memory part 55, transfers the data concerned to a processor through a transmission part 18, and the data of the label part 42 is generated by executing bar-code printing to the data concerned by a printing part 4.



10: handy terminal, a: to processor

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平4-238569

(43) 公開日 平成4年(1992)8月26日

(51) Int.Cl.³G 0 6 F 15/22
15/21

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

7218-5L

P 7218-5L

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願平3-6428

(22) 出願日 平成3年(1991)1月23日

(71) 出願人 000003078

株式会社東芝

神奈川県川崎市幸区堀川町72番地

(71) 出願人 591013300

東芝ソフトウェアエンジニアリング株式会
社

東京都目黒市新町1385番地

(72) 発明者 西山悦郎

東京都目黒市末広町2丁目9番地 株式会
社東芝目黒工場内

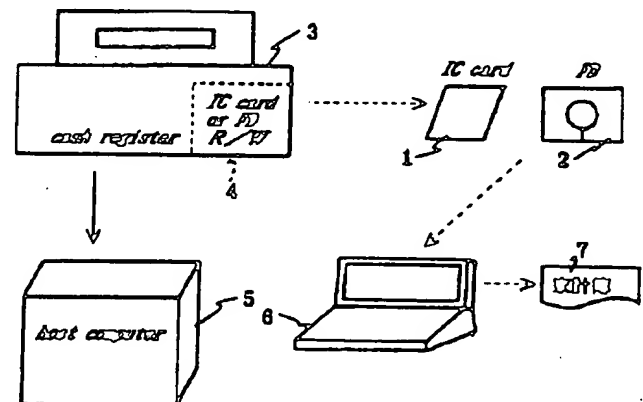
(74) 代理人 弁理士 佐藤 一雄 (外3名)

(54) 【発明の名称】 会計処理システム

(57) 【要約】

【構成】 精算の際、FDやICカードなどの記録媒体1、2に従来のレシートと同様な情報を帳簿作成用情報としてレジスター3により記録し、これをワープロやパソコンなどの帳簿作成機6にかけて帳簿を作成させる。また、記録媒体1、2の顧客コードを利用し、これと共に売上げ情報をレジスター3からホストコンピュータ5へ送り、顧客ごとに売上げを管理する。

【効果】 消費者は帳簿作成に手記や手計算の必要がなく、販売者は顧客ごとに売上げを管理することができ、流通方面で消費者・販売者双方にとって都合のよい情報処理システムの応用を実現することができる。



1

2

【特許請求の範囲】

【請求項1】 顧客コード及び帳簿作成用情報を記憶する外部記録媒体と、売上げ情報を前記帳簿作成用情報として前記外部記録媒体に記録する機能を有し、かつ該外部記録媒体から前記顧客コードを読取ってこれを識別し顧客ごとに前記売上げ情報を分類する機能を有する、店舗に設置されるレジスターと、前記外部記録媒体の前記帳簿作成用情報を用いて帳簿を作成する帳簿作成機とを備えている会計処理システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】 【発明の目的】

【産業上の利用分野】 本発明は、一般家庭での家計簿、企業での帳簿作成や経理に利用することができる会計処理システムに関する。

【0002】

【従来の技術】 近年、情報処理システムの多方面への応用が盛んであるが、販売者と消費者との流通方面への応用へは今だ及んでいないのが実情である。しかし近時では、そのような分野でもその当事者にとって都合の良いシステムの出現に対する要求が高まっており、その理由としては次のようなものがある。

【0003】 まず、消費者側から見た場合の流通活動の例として、主婦が各家庭において家計簿を付けることが上げられる。この場合、一般に、スーパー等のレジスターより出力されたレシートを見ながら、品目分類別に転記し、日別、月別に手計算にて集計しているのが現状である。しかしながら、特にきめ細かに家計簿を付けたい主婦にとっては毎日の記帳、手計算は大変である。

【0004】 また、販売者側に立ってみると、ただレシートや領収書を発行して精算するだけでは、顧客の管理が行えず、せっかく訪れてくれた客、ひいきの客に対してのサービスも行き届かせることができないのである。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】 このように、従来にあっては、販売者と消費者との流通方面においてその双方が不便さを感じているにもかかわらず情報処理システムの活用が遅れている。

【0006】 本発明は、このような実情に鑑みてなされたもので、その目的とするところは、消費者にとっては帳簿の作成を容易にし、また販売者側にとっては顧客の管理を効率的に行うことができる会計処理システムを提案することにある。

【0007】 【発明の構成】

【課題を解決するための手段】 本発明の会計処理システムは、顧客コード及び帳簿作成用情報を記憶する外部記録媒体と、売上げ情報を前記帳簿作成用情報として上記外部記録媒体に記録する機能を有し、かつ外部記録媒体から上記顧客コードを読取ってこれを識別し顧客ごとに上記売上げ情報を記憶保持する機能を有する、店舗に設置されるレジスターと、外部記録媒体の帳簿作成用情報

を用いて帳簿を作成する帳簿作成機とを備えている。

【0008】

【作用】 本発明によれば、消費者は買物に行く際、外部記録媒体としてFD（フロッピディスク）やICメモリカードなどを携帯し、採算の際、これに従来のレシートと同様な情報を帳簿作成用情報として記録してもらい、これをワープロやパソコンなどの帳簿作成機にかけて帳簿を作成させることで、従来のように手記や手計算を必要とすることなく帳簿を作成することができる。

10 【0009】 例えば家計簿作成を考えると、帳簿作成用情報の中に食料品、衣料品、嗜好品等の家計簿上の分類情報を持てば、各分類ごとの自動集計など容易に実現できる。

【0010】 また、販売者は、上記したようなレジスターを持てば、顧客ごとに売上げを管理することが容易になり、後日、ダイレクトメールの発送など、各種サービスに利用することができる。

【0011】

【実施例】 以下に本発明の実施例について図面を参照しつつ説明する。図1は本発明の一実施例にかかる会計処理システムの構成図である。図1において、1はICメモリカード、2はフロッピディスクからなる外部記録媒体である。これら外部記録媒体1、2には、予め、各顧客独自の顧客コードが記録され、また家計簿を作成するための情報が記録されることとなる。

20 【0012】 3は百貨店・スーパー等に設置するレジスターである。このレジスター3には、売上げ情報読み込み機4が設けられ、この売上げ情報読み込み機4により、精算の際、客が購入した商品の名称、単価、数量、商品分類コード等の情報を帳簿作成用情報として外部記録媒体1、2に記録するようになっている。

30 【0013】 また、このレジスター3は外部記録媒体1、2から上記顧客コードを読取ってこれを識別し顧客ごとに売上げ情報を分類し、ホストコンピュータ5に転送する機能を有する。このホストコンピュータ5はその情報を基に種々の顧客管理を行うようになっている。

40 【0014】 6はパソコン、ワープロ等の家計簿作成処理プログラムを実行する家計簿作成機である。このプログラムは外部記録媒体1、2の持つ情報に基づいて、家計簿文書あるいは家計簿データを作成し、必要に応じて会計簿7をプリントアウトする処理を行う。

50 【0015】 このようなシステムによれば、主婦は買物に行く際、外部記録媒体1あるいは2を携帯し、精算の際、これをレジの人に渡して、従来のレシートと同様の情報を帳簿作成用情報として記録してもらい、これを家計簿作成機6にかけて家計簿を作成させることで、従来のように手記や手計算を必要とすることなく帳簿を作成することができる。家計簿作成用情報の中に上記したような食料品、衣料品、嗜好品等の家計簿上の分類情報を持てば、各分類ごとの自動集計など容易に実現できる。

【0016】また、店側してみれば、上記したようなレジスター3、ホストコンピュータ5を持てば、顧客ごとに売上げを管理することが容易になり、後日、ダイレクトメールの発送など、各種サービスに利用することができることとなる。

【0017】

【発明の効果】以上説明したように本発明によれば、FD（フロッピディスク）やICメモリカードなどを販売者と消費者との流通の媒体とすることで、従来のように手記や手計算を必要とすることなく帳簿を作成することができ、また、販売者は、上記したようなレジスターを持てば、顧客ごとに売上げを管理することが容易になり、流通方面において消費者・販売者双方にとっては都

合のよい情報処理システムの応用を実現することができる。

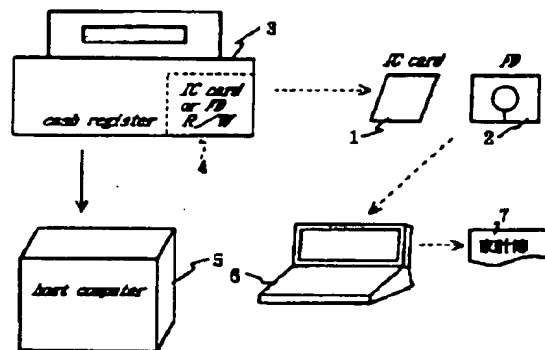
【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例に係る会計処理システムの構成図。

【符号の説明】

- 1 ICメモリカードからなる外部記録媒体
- 2 フロッピディスクからなる外部記録媒体
- 3 レジスター
- 4 売上げ情報書込み機構
- 5 ホストコンピュータ
- 6 家計簿作成機
- 7 家計簿

【図1】



BEST AVAILABLE COPY